

黒毛和種去勢牛におけるゼオライト添加が産肉性に与える影響

畜産試験場

檜垣邦昭、岡田栄一

ゼオライトは二酸化ケイ素を主成分とした鉱物で、吸着剤、イオン交換剤として広く用いられている。近年、ゼオライトを飼料に添加することにより、養殖鯛の腹腔内脂肪やドリップの減少が報告されており、ブロイラーでは体重増加の可能性が示唆されている。そこで、黒毛和種去勢牛8頭を用いて、ゼオライト添加が産肉性に与える影響について調査した。濃厚飼料給与量の0.5%（0.5%区）、1%（1%区）を10ヶ月齢から出荷までの肥育全期間添加し、発育、肉質について対照区と比較した。枝肉重量は0.5%区が対照区に対して有意に高い値を示した。しかし、BMS、肉色、きめ・しまりに関しては対照区が最も良く、1%区が最も悪くなる傾向を示した。脂肪については、ゼオライト添加により硬くなる傾向を示した。これらの事から、肥育全期間にゼオライトを添加することによって、肉質が若干低下し脂肪を硬くする傾向を示すものの、増体が良くなることが明らかになった。

畜種：牛、分類：畜産技術